



土岐市統計書

2013

- 概要版 -



目次



はじめに・・・・・・・・・・1	安全・安心・・・・・・・・・・11
土岐市民憲章・市のシンボル・・・・・・・・・・2	公衆衛生・・・・・・・・・・12
土岐市民の歌・・・・・・・・・・3	厚生・社会保障・・・・・・・・・・13
土地・気象・・・・・・・・・・4	教 育・・・・・・・・・・14
人 口・・・・・・・・・・6	財 政・・・・・・・・・・15
産 業・・・・・・・・・・8	所 得・・・・・・・・・・16
建 築・運 輸・観 光・・・・・・・・・・10	統計から見る土岐市の暮らし・・・・・・・・・・17



凡 例



- 1 本書の内容は平成25年の各統計資料を中心に作成しています。
- 2 資料は官公庁、民間団体ならびに庁内各課・室等からの報告によるもの、または、総合政策課において直接調査収集したものです。なお、資料の出所名は各図表の下部右端に掲げてあります。
- 3 期間について、年とあるのは1月から12月まで、年度とあるのは4月から3月までです。
- 4 統計表中総数と内訳の計が一致しない場合もありますが、これは数字の単位未満について、四捨五入、または切捨てを原則としたためです。
- 5 数字の単位については、各表上部左端または表中に注記してありますが、一見して明らかなものは省略してあります。
- 6 統計の利用に当たって、更に詳細な内容を必要とするときは、総合政策課へ照会してください。

はじめに

ここに2013年（平成25年版）「土岐市統計書一概要版一」を刊行いたします。

この統計書は、本市の人口をはじめ、経済・社会・文化など各分野にわたる基本的な統計資料を収録した「2013年（平成25年版）土岐市統計書」の中から、特徴的なデータを抽出し、グラフや図を用いて視覚的に市勢の現状と推移を明らかにしたものです。本市の状況をより一層ご理解いただくための参考資料として、行政施策上はもとより、一般の方々にも広くご活用いただければ、誠に幸いです。

なお、貴重な資料の提供並びに格別のご協力を賜りました関係各位に対し、厚く感謝の意を表しますとともに、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成27年2月

土岐市長 加藤 靖也

土岐市民憲章

わたしたちは 長い歴史と伝統をもつ「土と炎」の土岐市民です。

わたしたちのまちが 先人の創造と努力によってきずかれ、世界と結ぶ「美濃焼のまち」として発展してきました。

わたしたちは 土岐市民であることに誇りを持ち、文化の香り高い産業都市へのしるべとして市民憲章を定めます。

- 自然を愛し 美しい土岐市をつくりましょう
- きまりを守り 明るい土岐市をつくりましょう
- 健康で働き 豊かな土岐市をつくりましょう
- 教養を高め 伸びゆく土岐市をつくりましょう
- 力を合わせ 住みよい土岐市をつくりましょう

市の花



キキョウ

(平成2年2月1日制定)

花期は7月～8月ごろで、花の色は青紫のほか白・ピンクなどがあります。また、中世に美濃国守護として活躍した土岐氏一門の旗印・家紋としても有名です。

市章



(昭和30年2月1日公表)

土岐市の頭文字である“土”を図案化したもので、窯焼く煙と温泉の湯煙をもって本市の表徴とし、これを市章と定めたものです。

市の木



ヒトツバタゴ

(平成2年2月1日制定)

ナンジャモンジャの別名で知られ、5月ごろ雪をかぶったように白い花をいっぱい咲かせます。国内では、長崎県対馬北端、岐阜県木曾川周辺、愛知県の一部に自生しています。

土岐市民の歌

作 詞 土岐市民の歌制定委員会

補作詞 森 菊蔵

作 曲 松尾 隆夫

おおらかに *mp*

みくにの やまよみののそら ひろがる のべにさきかあるひと

つばたごの しーろいはな

軽快に *mp*

あかるい ラララ あかるい ラララ あかるいとき へ むねを

充実感 *mp*

ひらいて ひらいて カーざすはな

一 三國の山よ 美濃の原

ひろがる野辺に 咲きかある

ひつばたごの 白い花

あかるい……

あかるい あかるい 土岐へ

胸を ひらいて ひらいて かきす花

二 歴史を遠く 受け継いで

土焼く技に 生命こめ

まっ赤に燃える 窯の火

ゆたかな……

ゆたかな ゆたかな 土岐へ

若い 情熱 情熱 希望の火

三 みずりの丘に かじまわす

土岐のながれの 音

THE SOUND OF JIJUN

のびのび……

のびのびの のびのびの 土岐へ

すすむ わたらの わたらの 旗じるし

(平成二年二月一日制定)

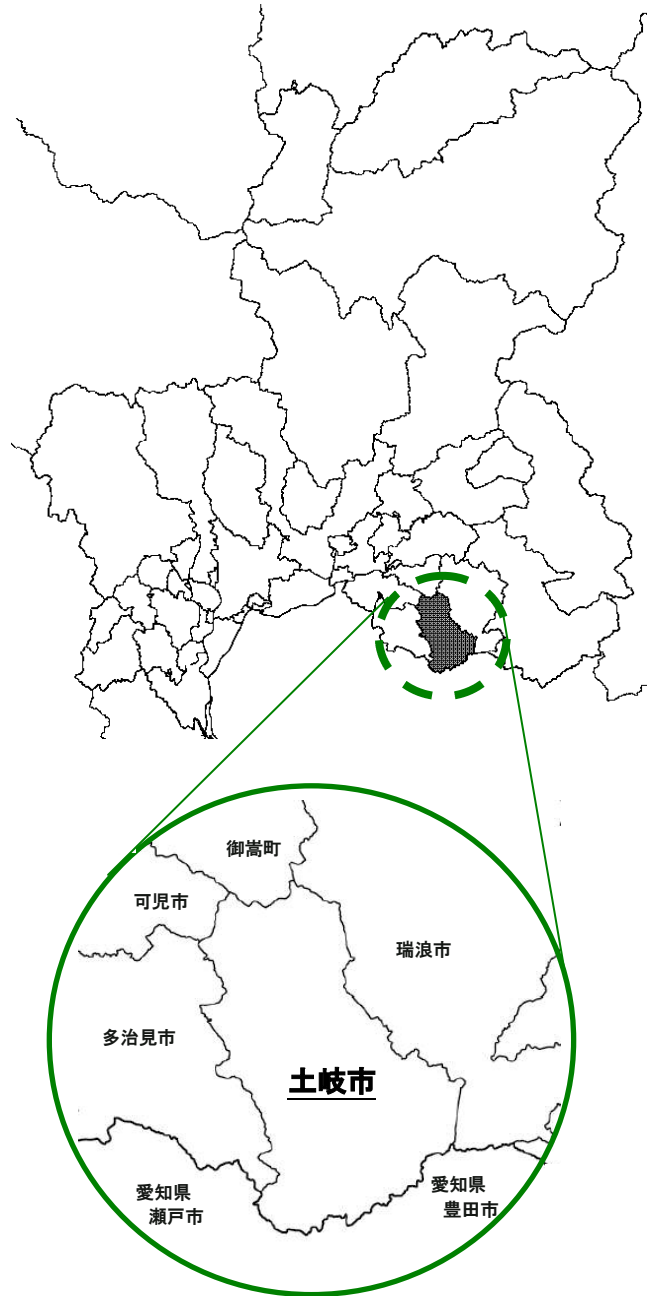
土地・気象

市域は、東西12.49km、南北16.86km、面積は116.16km²で、その約7割を丘陵地が占めています。地形は南に高く北に低く、特に南部は急峻な山地となっています。中央部の丘陵地は、陶土採掘や窯業用燃料として樹木を伐採したため、昭和初期にははげ山と化していましたが、その後約50年間にわたり治山事業が続けられ、現在は緑豊かな丘陵が取り戻されています。

市街地は、北部を横断する土岐川流域及び支流の肥田川、妻木川流域の平坦部に開け、中央丘陵を環状に取り巻くように形成されています。

平均気温15℃前後、平均湿度70%と温和な気候であり、年間降水量は1,500mm程度、夏季の降水量が多く、降雪は少なくなっています。

位置



市域の変遷

編入年月日	編入地域	面積(Km ²)
昭和30年2月1日	市制施行	116.29
昭和32年4月1日	泉町定林寺次月を可児郡御嵩町に編入	116.16

範囲

区分	地点	東経	北緯
極東	曾木町蘭仙	137° 16′ 58″	35° 19′ 02″
極西	泉町久尻	137° 08′ 40″	35° 22′ 32″
極南	鶴里町柿野	137° 12′ 01″	35° 15′ 05″
極北	泉町定林寺	137° 11′ 39″	35° 24′ 12″
市役所	土岐津町土岐口	137° 10′ 59″	35° 21′ 09″

地区別面積

地区	土岐津	下石	妻木	鶴里	曾木	駄知	肥田	泉	総面積
面積(km ²)	10.97	8.01	15.02	22.03	15.86	5.77	9.60	28.90	116.16

■ 主要山岳

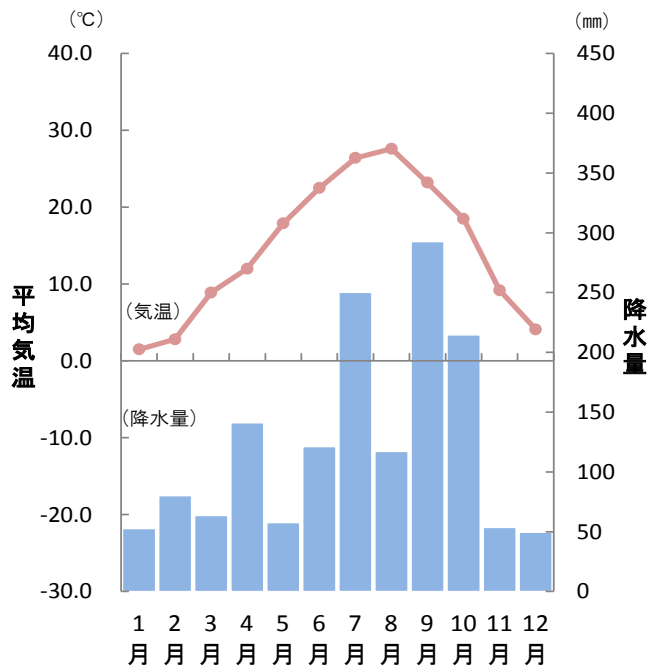
鶴岡山	(鶴里)	712m
三国山	(〃)	701m
八剣山	(妻木)	478m
城山	(〃)	404m
夕立山	(駄知)	405m
高根山	(泉)	334m
丸山	(〃)	291m

■ 一級河川

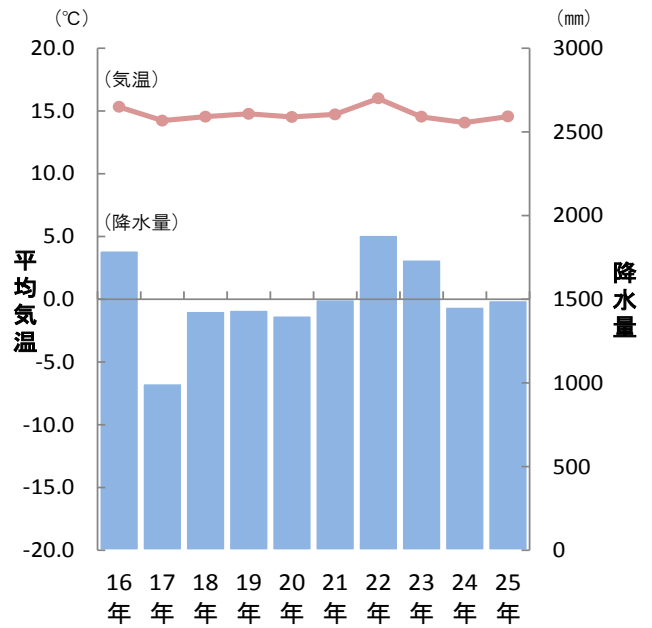
肥田川	13,716m
妻木川	7,855m
土岐川	7,780m
伊野川	2,409m
下石川	2,250m
不動川	1,527m
前の川	1,113m
久尻川	948m
裏山川	790m



■ 月別平均気温と降水量の推移(平成25年)



■ 年別平均気温と年間降水量の推移



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(°C)	11.4	15.3	21.4	25.4	30.8	34.0	36.4	37.1	33.0	31.0	20.9	14.2
最低(°C)	-7.0	-6.9	-4.5	-0.6	2.3	14.0	18.0	17.1	9.9	5.2	-1.6	-4.5
平均(°C)	1.5	2.8	8.9	12.0	17.9	22.5	26.4	27.6	23.2	18.5	9.2	4.1
降水量(mm)	52.5	80.0	63.5	141.0	57.5	121.0	250.0	117.0	292.5	214.5	53.5	49.5

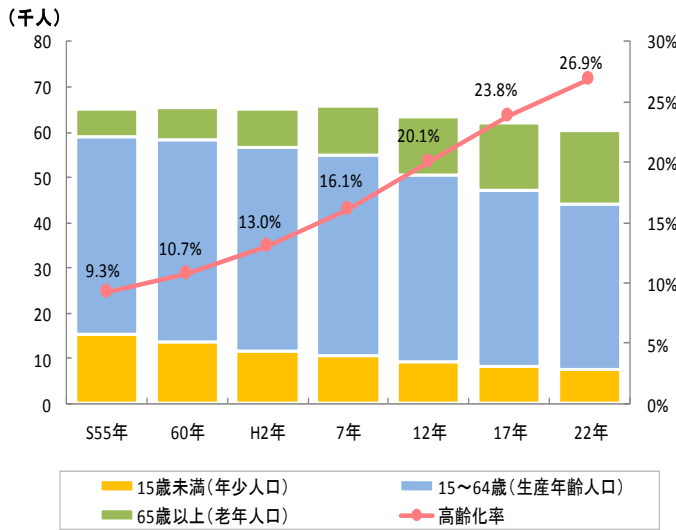
資料:消防署

人口

土岐市の人口は、平成7年の国勢調査時には65,631人でしたが、それ以降は減少傾向にあります。人口動態を見ますと、平成13年以降は死亡者が出生者を上回る「自然減」、平成17年以降は転出者が転入者を上回る「社会減」となり、人口減少が進んでいます。

また、15歳未満の子どもが減り続ける一方で、65歳以上の高齢者人口は増加し、総人口に占める高齢者の割合を示す高齢化率は、平成22年の国勢調査時には26.9%まで増加しています。

■ 年齢3区分別人口と高齢化率



(人)	昭和55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	22年
総人口	65,038	65,308	64,946	65,631	63,283	62,102	60,475
年少人口	15,275	13,710	11,505	10,532	9,363	8,331	7,703
生産年齢人口	43,743	44,598	44,991	44,525	41,207	38,964	36,495
老年人口	6,017	7,000	8,444	10,574	12,690	14,802	16,252
不詳	3	0	6	0	23	5	25

資料：国勢調査

■ 人口・世帯数

(平成26年3月31日現在)

男 29,398 人

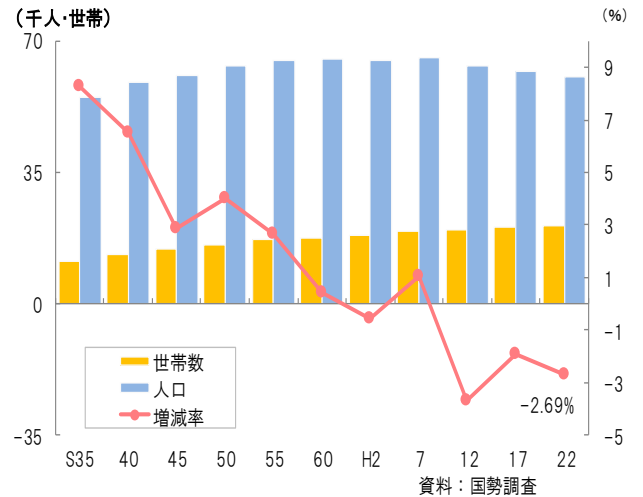
女 31,293 人

総数 60,691 人

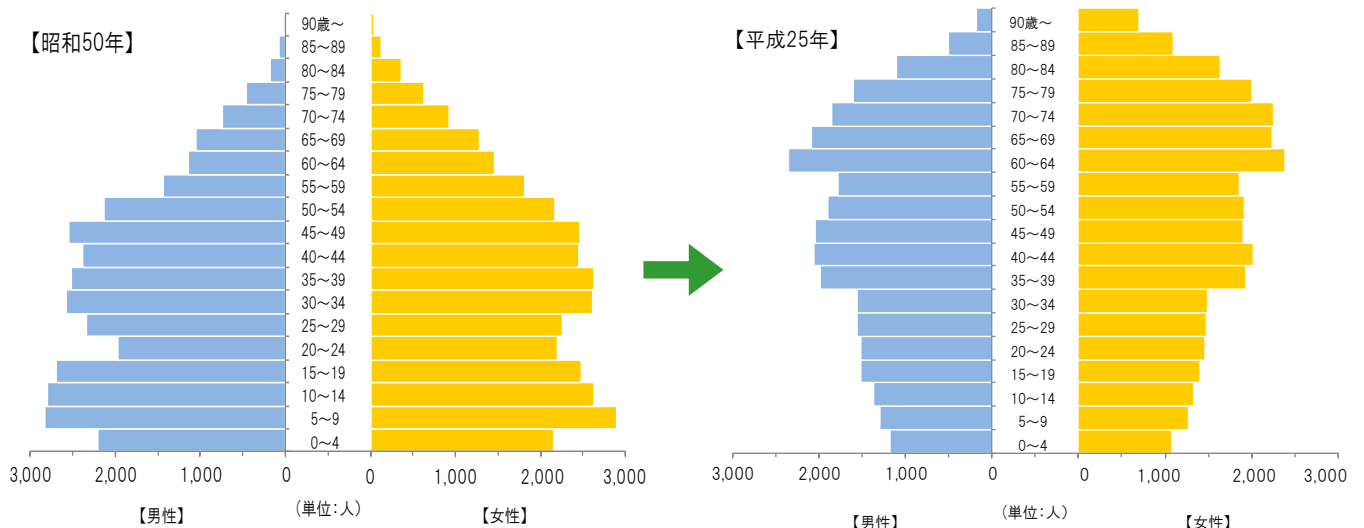
世帯数 23,719 世帯

資料：総合政策課

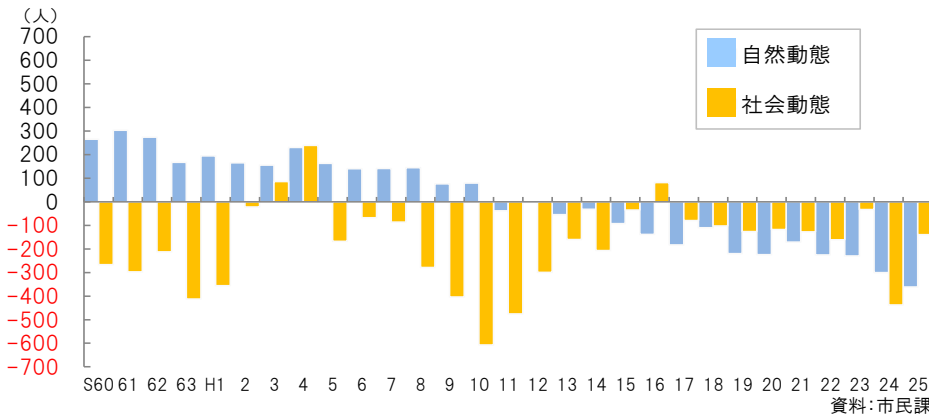
■ 人口・世帯数の推移と人口増減率



■ 人口ピラミッドの推移



人口動態の推移



人口動態

(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

自然動態 361人減少

出生 378人

死亡 739人

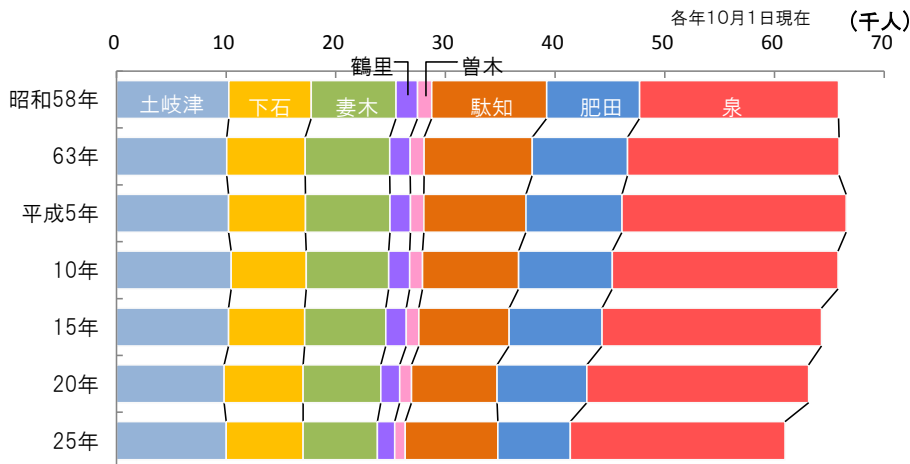
社会動態 140人減少

転入 1,692人

転出 1,832人

資料: 市民課

町別の人口推移と人口密度



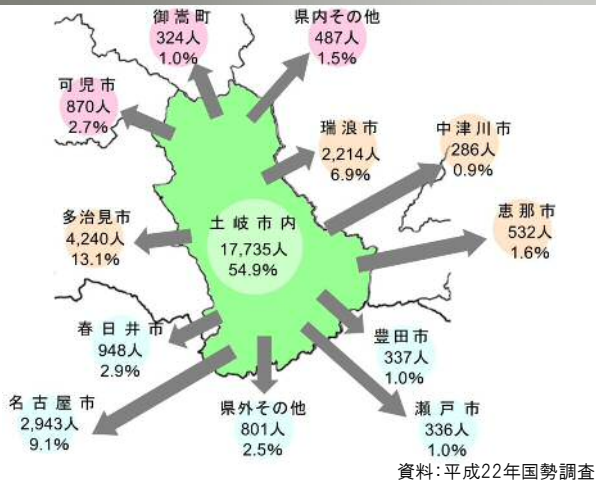
※旭ヶ丘町分は、平成20年までは肥田町、平成25年は駄知町に含めてあります。

(平成25年10月1日現在)

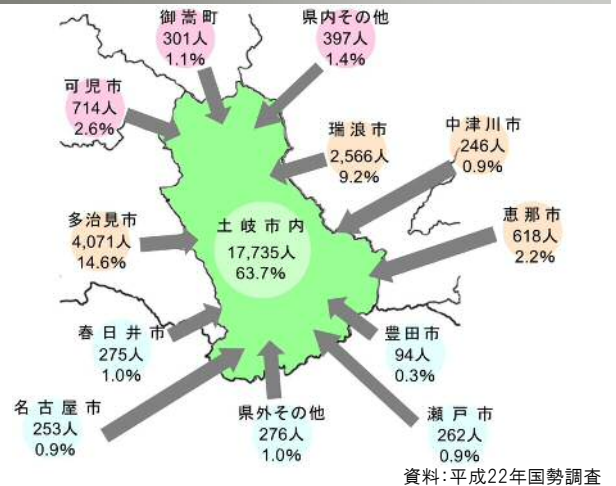
地区名	人口 (人)	人口密度 (人/K ²)
土岐津町	10,003	911.9
下石町	7,026	877.2
妻木町	6,774	451.0
鶴里町	1,574	71.4
曾木町	958	60.4
駄知町	8,439	1,462.6
肥田町	6,611	688.6
泉町	19,570	677.2

資料: 総合政策課

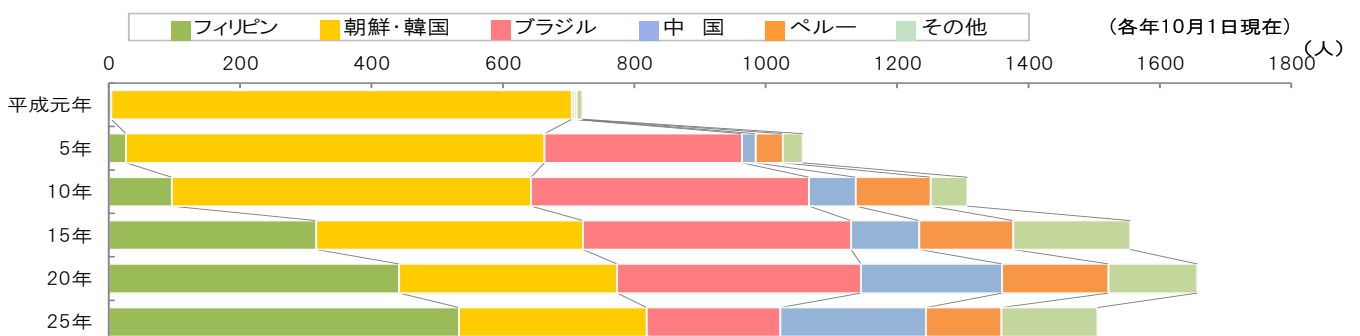
土岐市からの通勤・通学者数



土岐市への通勤・通学者数



国籍別外国人登録者の推移



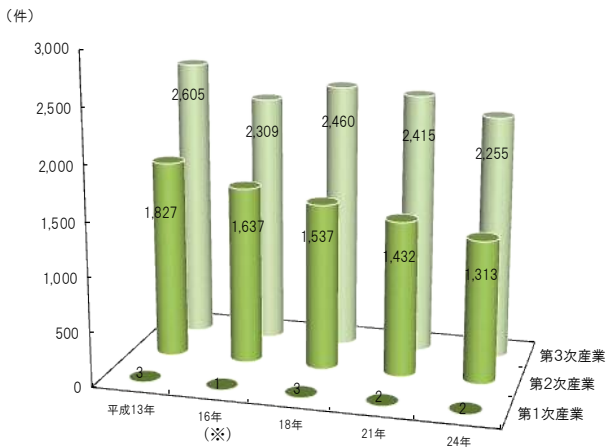
資料: 総合政策課・市民課

産 業

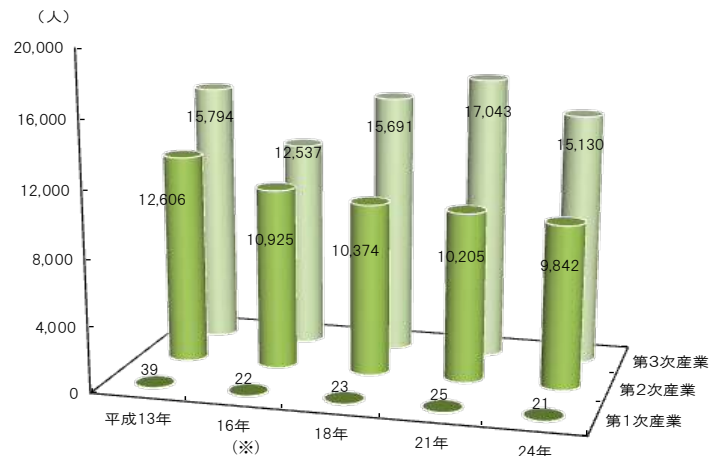
土岐市は良質な陶土に恵まれ、古来から美濃焼の産地として栄えてきました。製造業に占める窯業・土石製品製造業の割合は、事業所数・従業員数・製造品出荷額のいずれにおいても全体の半数以上を占めています。しかし、近年はそのいずれも減少傾向にあります。一方で、土岐市全体の従業者数は増加傾向にあり、特に小売業の従事者数は、平成17年の土岐プレミアムアウトレットのオープンに伴い回復をしました。

農家数は、経営耕地面積とともに減少しています。商店数は、昭和57年まで増加していましたが、それ以降は卸売業・小売業ともに減少しています。

産業分類別事業所数の推移



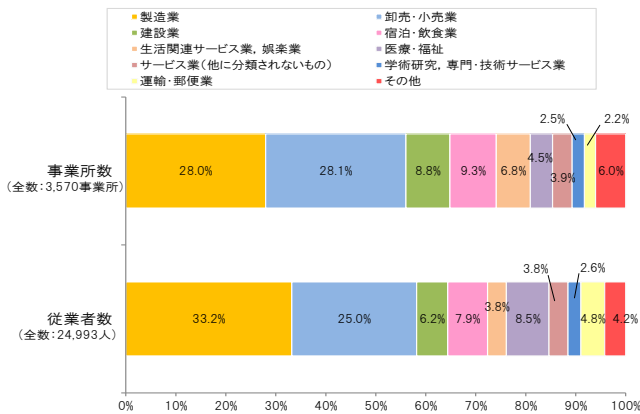
産業分類別従業者数の推移



※ 平成16年は、事業所・企業統計調査(簡易調査)が実施されたため、事業所数・従業者数は民営の事業所のみの数値となっている。

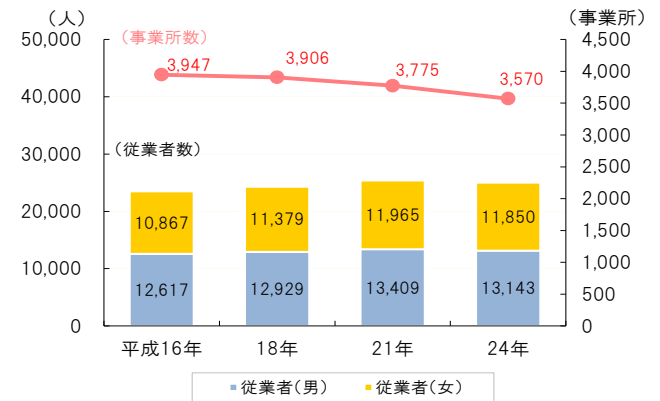
資料：事業所・企業統計、経済センサス基礎調査・活動調査

事業所数・従業者数の内訳



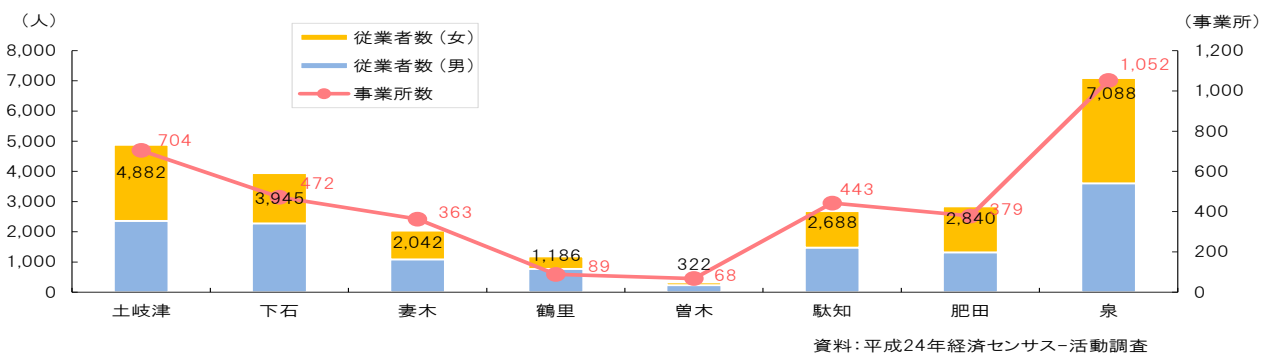
資料：平成24年経済センサス-活動調査

事業所数・従業者数の推移



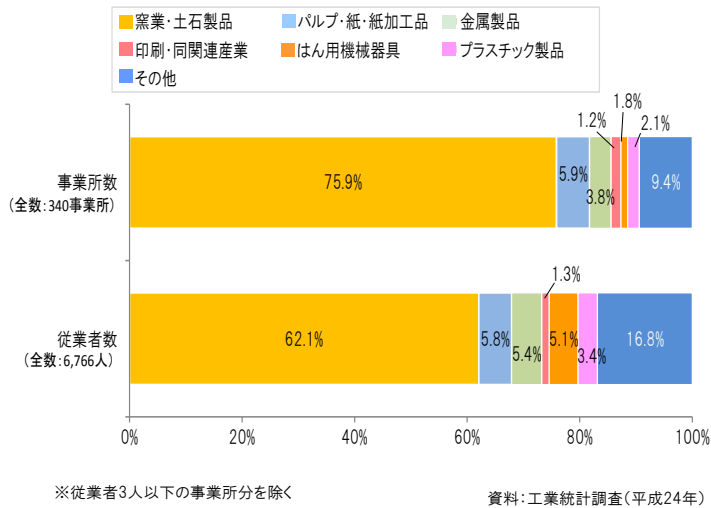
資料：事業所・企業統計、経済センサス基礎調査・活動調査

町別の事業所数・従業者数

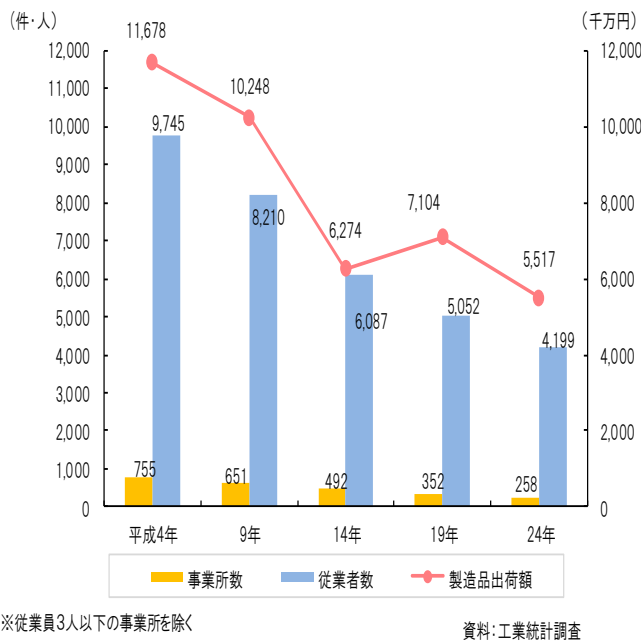


資料：平成24年経済センサス-活動調査

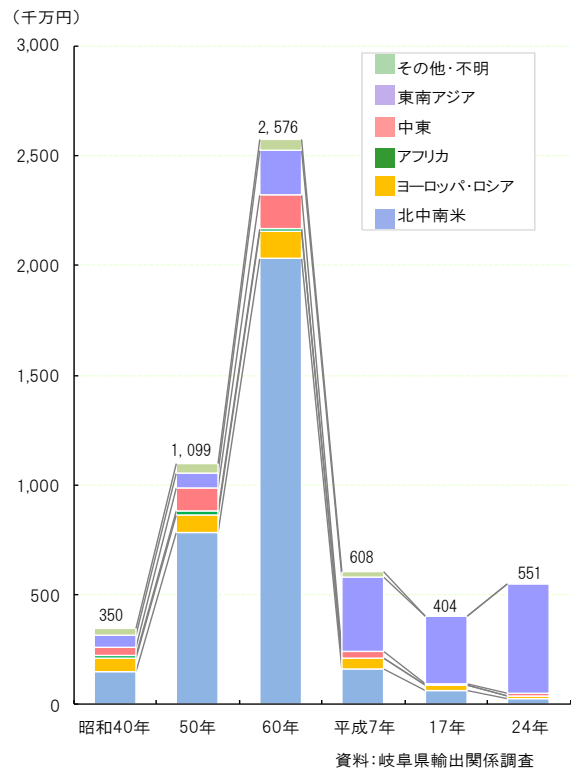
■ 製造業の事業所数・従業者数の内訳



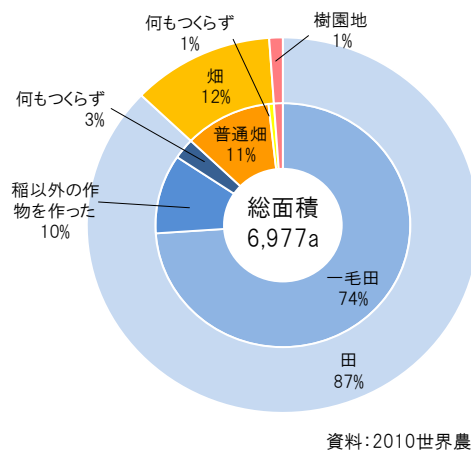
■ 窯業土石製品製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額の推移



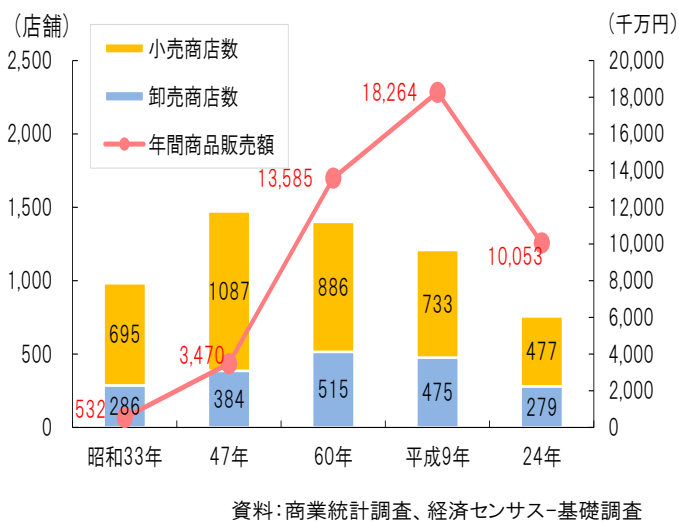
■ 工業製品の輸出額の推移



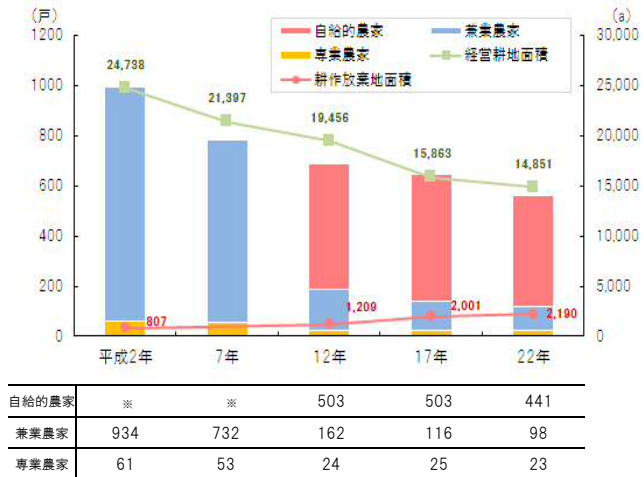
■ 販売農家の経営耕地面積



■ 商店数と年間商品販売額の推移



■ 農家(専業・兼業)数・耕地面積の推移

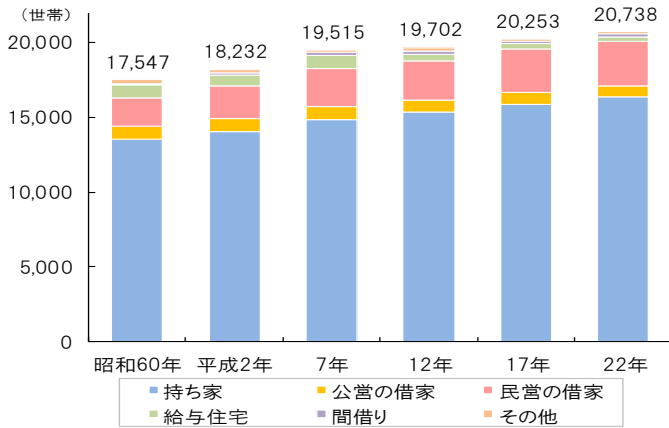


建築・運輸・観光

土岐市の住宅の所有関係は、持ち家の割合が高く借家の割合が低くなっており、構造別にみると木造が大部分を占めているもののその割合は減少傾向で、鉄骨造や鉄骨鉄筋コンクリート造がここ2,3年増加傾向です。

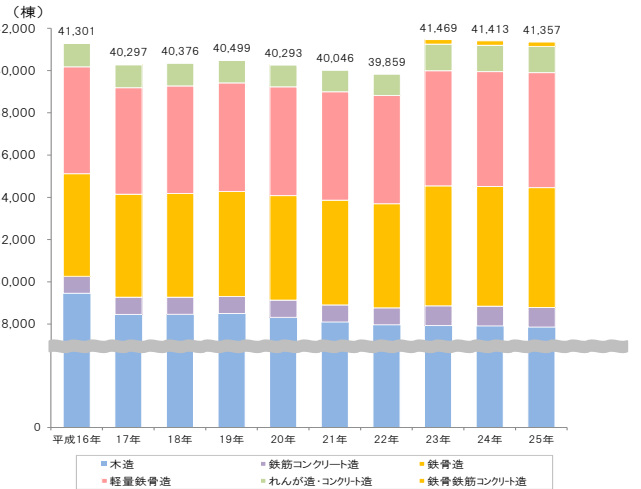
土岐市は高速交通網が整備され、中央自動車道と東海環状自動車道の結節点として交通アクセスが充実しています。平成25年2月には、東海環状自動車道の五斗蒔PAにスマートICの供用が開始され、さらなる利便性が向上しています。主な観光地・イベント等の入込客数は平成17年に開業した土岐プレミアム・アウトレットが年々増加しており、岐阜県内で最多の入込客数となっています。

住宅の種類・所有関係別世帯数の推移



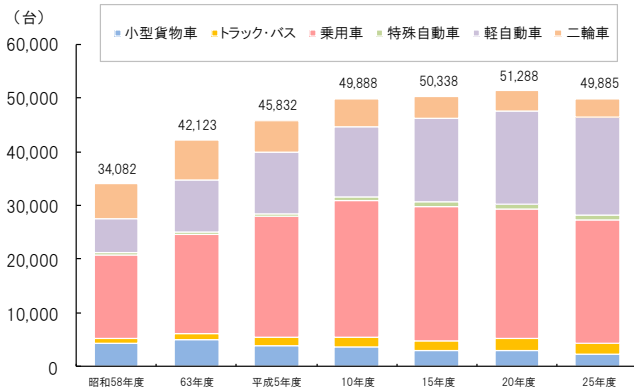
資料:国勢調査

家屋の棟数の推移



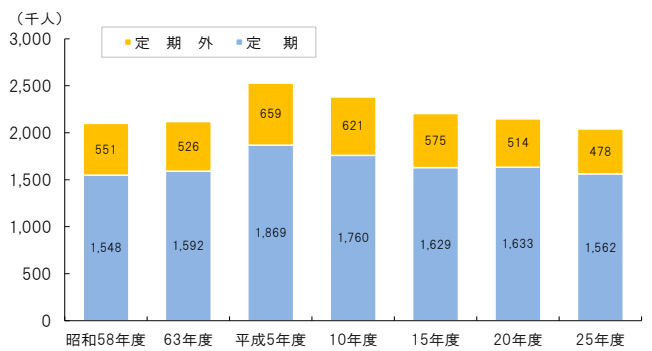
資料:税務課(家屋に関する概要調査報告書)

自動車保有状況の推移



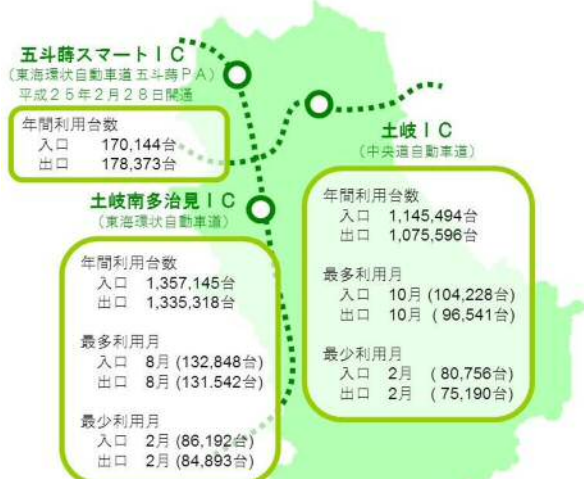
資料:岐阜県自動車会議所・税務課

JR土岐市駅乗客数の推移



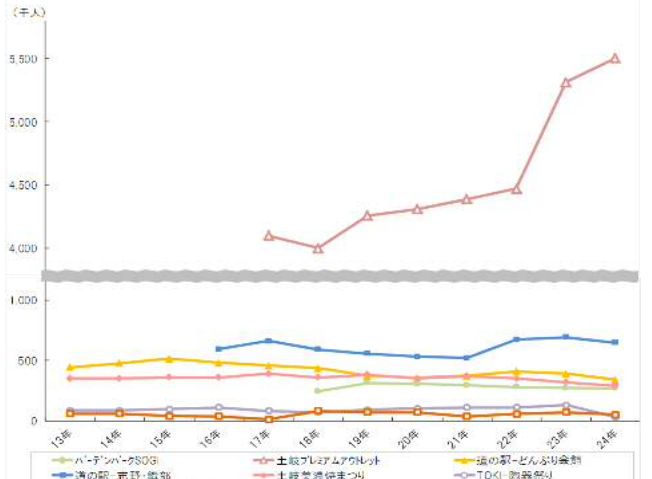
資料:JR東海

自動車道IC利用状況 (平成25年)



資料:中日本高速道路株式会社

主要な観光地・イベント等入込客数の推移



資料:岐阜県観光入込客統計調査

安全・安心

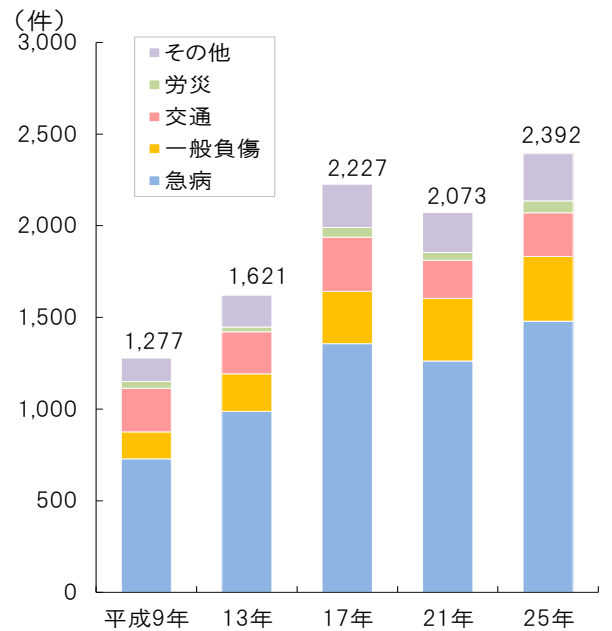
救急車両の出動回数は年々増加しており、その内訳は急病によるものが半数を超え、次いで一般負傷によるものが増加しています。交通事故の発生件数は平成24年に増加したものの、平成25年は減少しています。多治見警察署管内における犯罪発生件数は、平成13年をピークに著しい増加があったものの、それ以降は減少しています。

■ 火災発生状況の推移



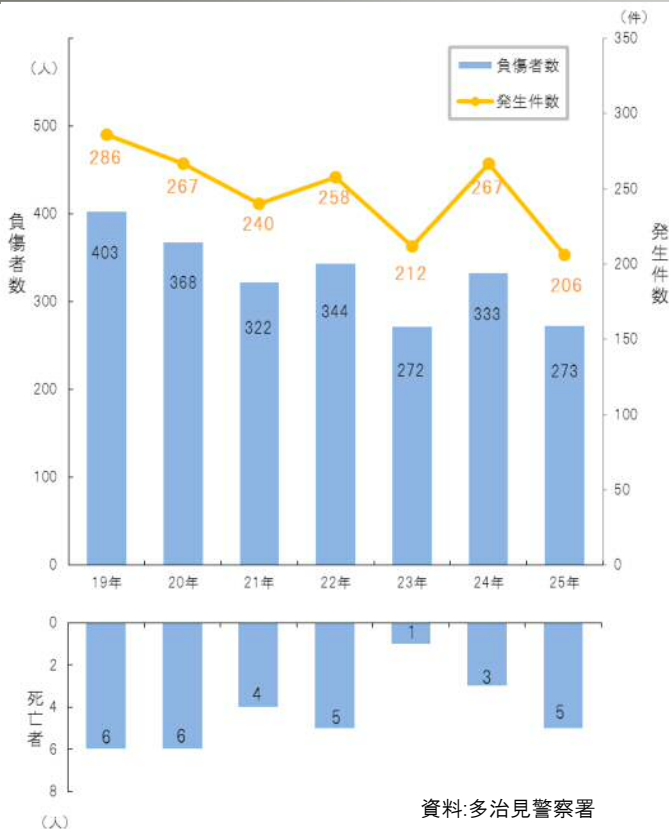
資料:消防署

■ 救急車両出動回数の推移



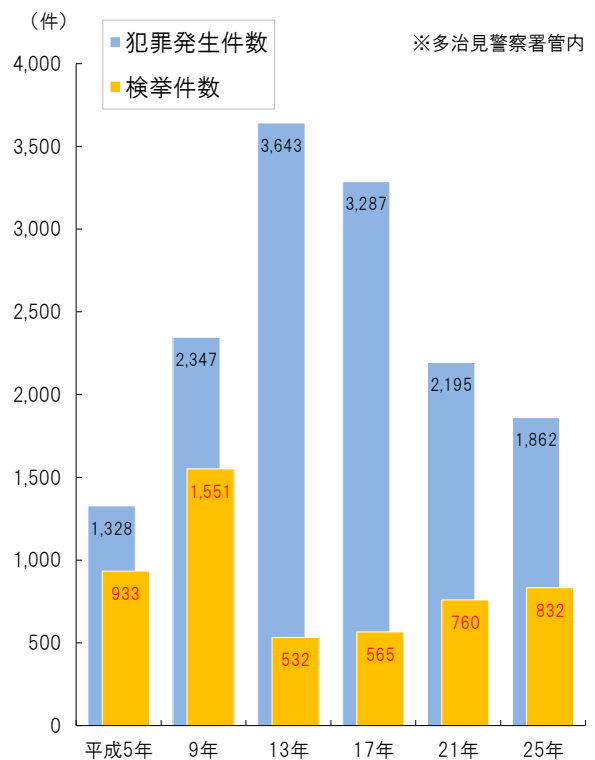
資料:消防署

■ 交通事故の発生状況及び負傷者・死亡者の推移



資料:多治見警察署

■ 犯罪発生件数と検挙件数の推移

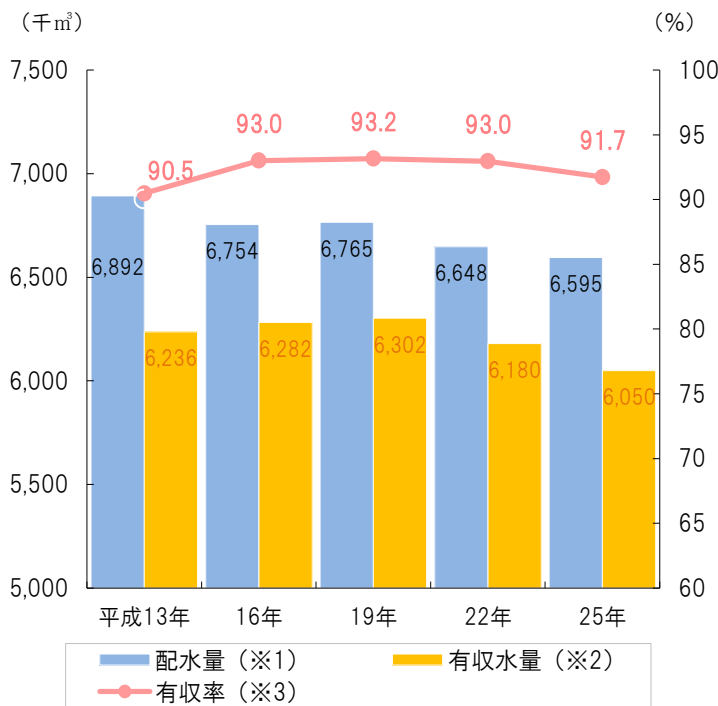


資料:多治見警察署

公衆衛生

下水道を利用できる人口の割合を示す普及率は、平成25年には83.3%にまで増加し、下水道を利用できる地域内で実際に下水道に接続している人口の割合を示す水洗化率も緩やかに増加しています。普及率の増加に伴い、し尿収集処理量は近年減少傾向となっています。ごみ処理量は、全体的に減少傾向にあります。産業廃棄物（不燃ごみ）の減少によるものが大きな要因となっています。

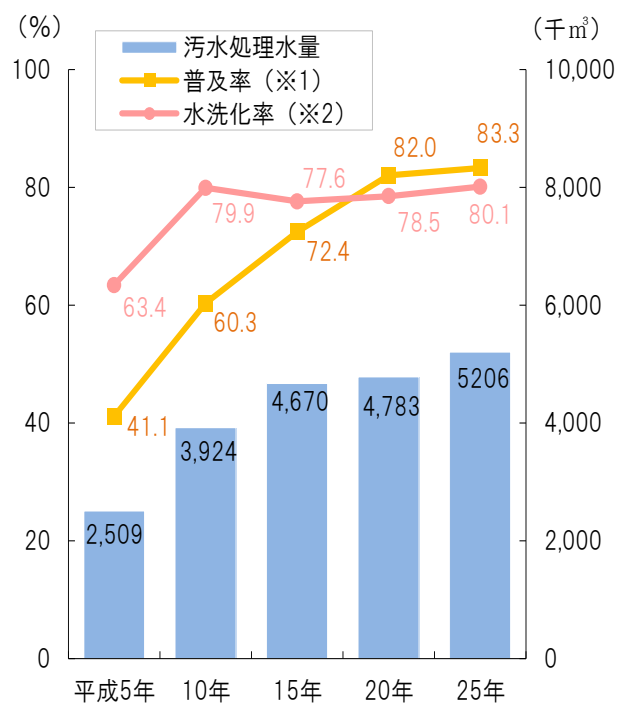
■ 上水道配水量・有収水量・有収率の推移



※1 取水された水量のうち、飲み水として浄水場から配水された水量。
 ※2 配水量のうち、料金収入となった水量。
 ※3 配水量のうち、有収水量の占める割合。

資料：水道課

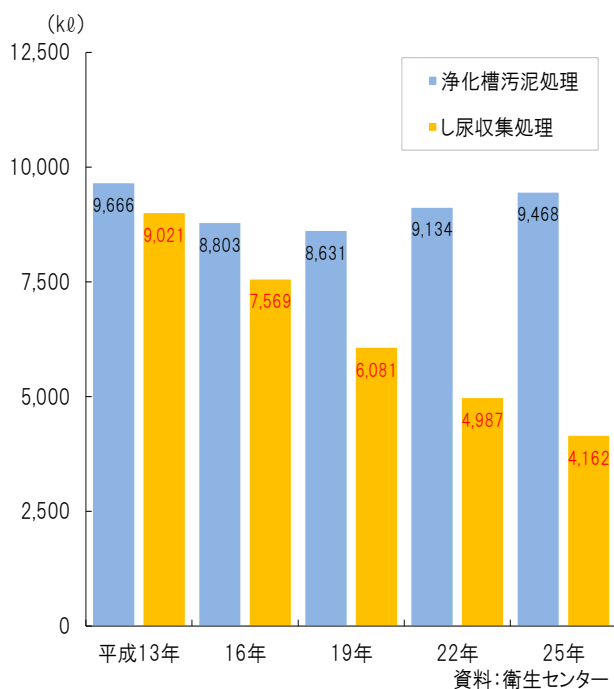
■ 汚水処理水量・下水道普及率・水洗化率の推移



※1 普及率 = 処理区内人口 / 行政人口
 ※2 水洗化率 = 水洗化人口 / 行政人口

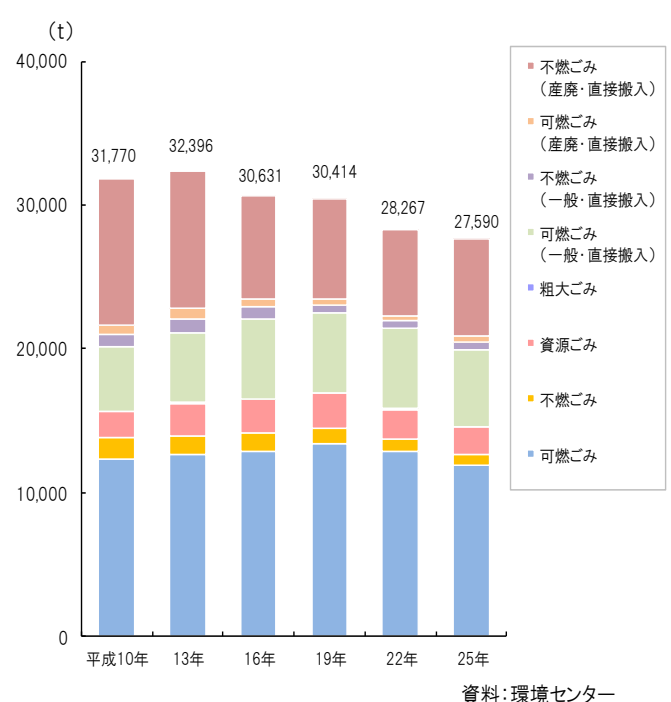
資料：浄化センター

■ 浄化槽汚泥処理量及びし尿処理収集量の推移



資料：衛生センター

■ ごみ処理量の推移

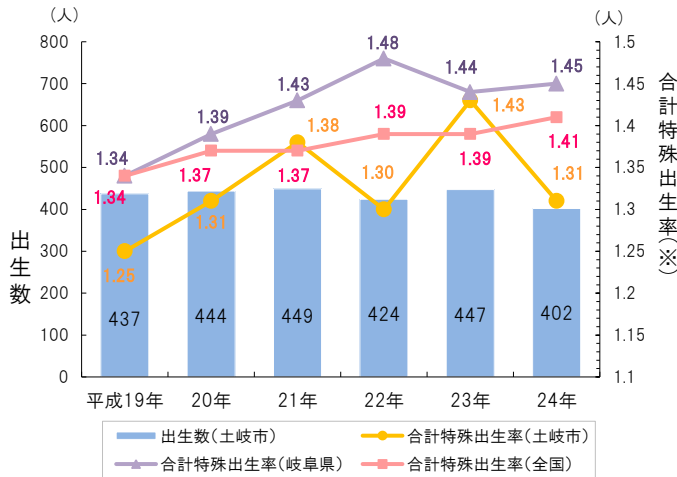


資料：環境センター

厚生・社会保障

出生者数は平成19年以降ほぼ横ばいであり、土岐市の合計特殊出生率は県よりもやや低い水準で推移しています。死亡者は年々増加しており、死因別に見ると悪性新生物（がん）による死亡者の割合が大きくなっています。生活保護を受給している世帯数は平成5年を底辺に、保護費とともに増加しています。ここ20年で世帯数は約3倍、保護費は約2.7倍となっています。介護保険の要介護・支援認定者は年々増加しており、特に要介護3以上の区分の増加が顕著となっています。保育所の収容状況は、総数としてはやや減少していますが、3歳未満児は少しずつ増加しています。

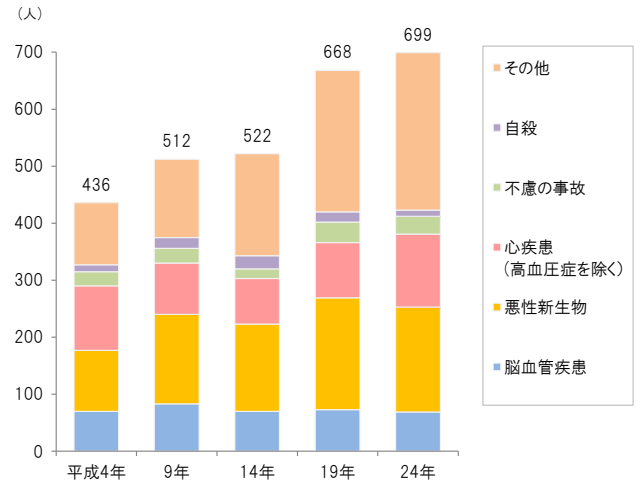
出生者数と合計特殊出生率の推移



※1人の女性が一生に産む子供の平均数。

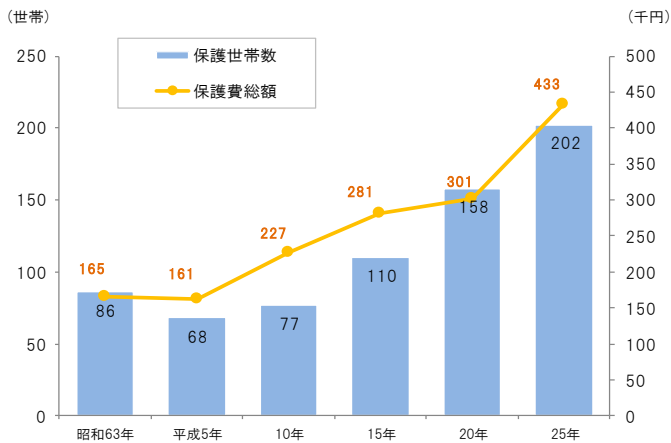
資料：東濃保健所

死因別死亡者数の推移



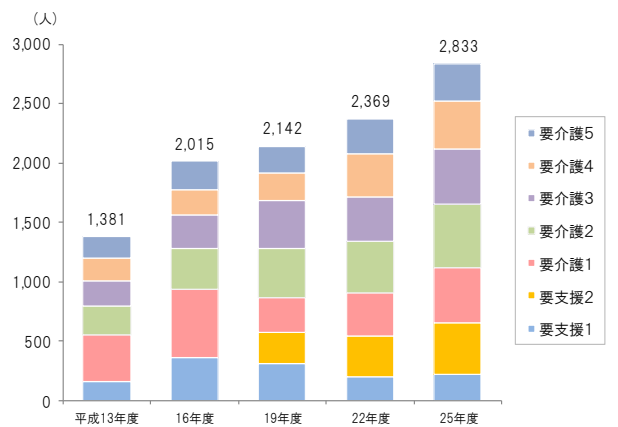
資料：東濃保健所

生活保護世帯数と保護費の推移



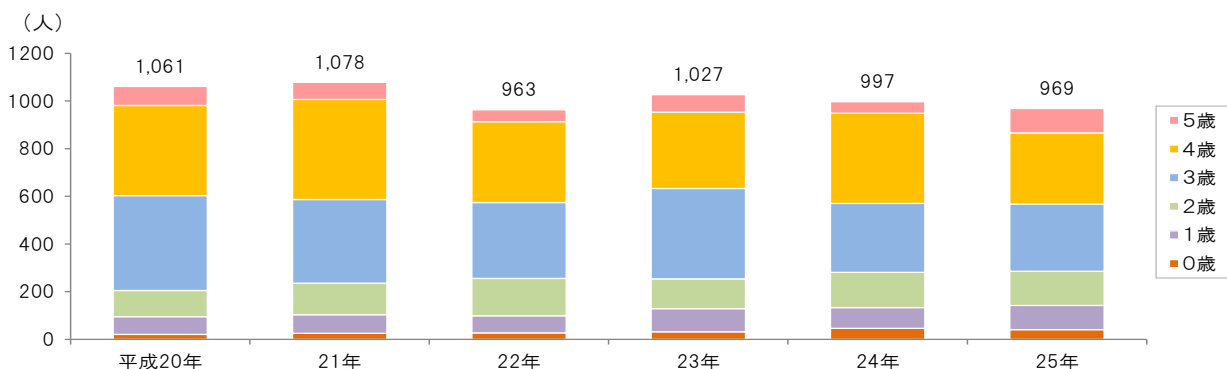
資料：福祉事務所

介護保険の要介護・支援認定者数の推移



資料：高齢介護課

保育所収容状況の推移

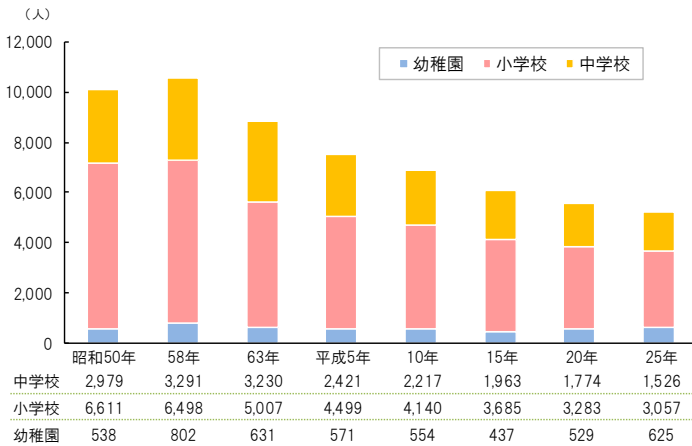


資料：福祉事務所

教育

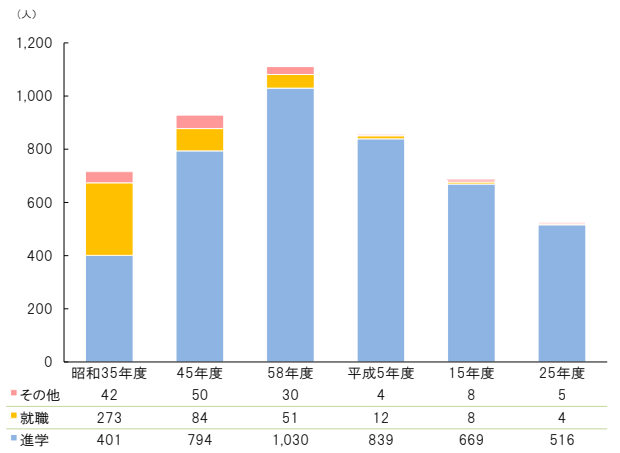
少子化の影響により、園児・児童・生徒数は年々減少しており、その数は昭和50年と比較すると約半数程度となっています。教職員数1人あたりの園児・児童・生徒数も、幼稚園、小学校、中学校のいずれにおいても減少傾向が見られます。中学校卒業者の進路状況については、進学者の割合が年々増加しています。

園児・児童・生徒の推移



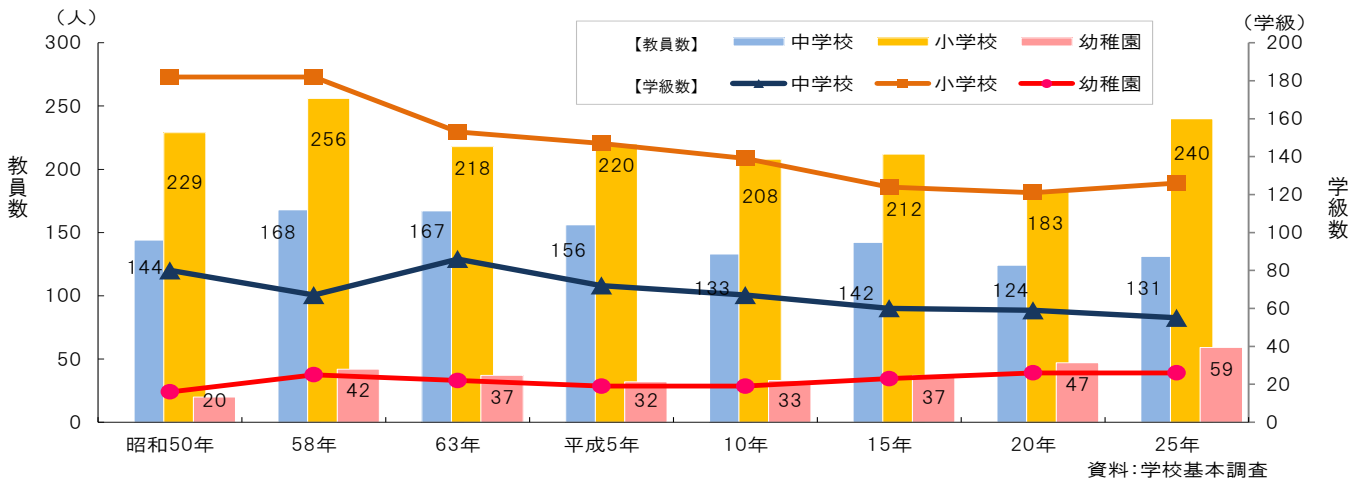
資料:学校基本調査

中学校卒業者の進路状況の推移



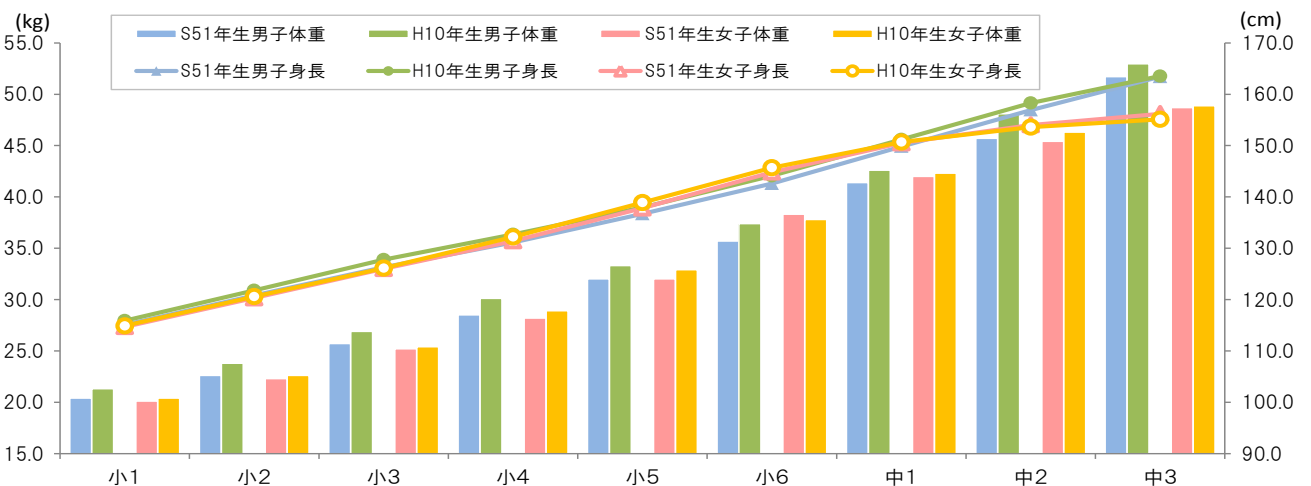
資料:学校基本調査

教職員・学級数の推移



資料:学校基本調査

小学生・中学生の平均体位の推移比較



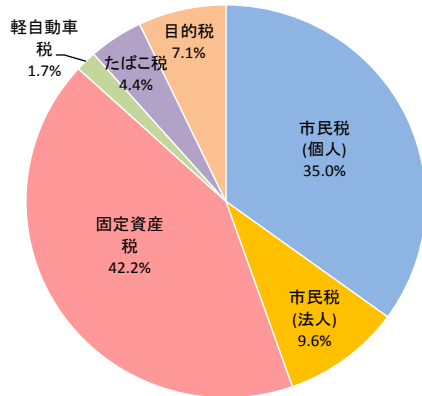
資料:学校保健統計調査

財政

土岐市の税金の大半は、市民税と固定資産税によって構成されています。市税収入は減少傾向にありますが、徴収率は上昇しています。

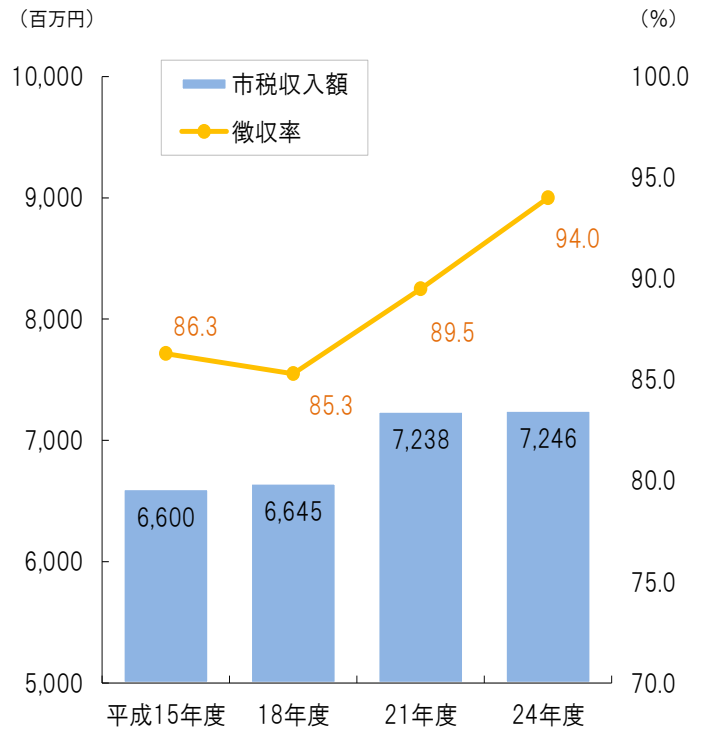
経常収支比率は、平成21年には95.3%まで増加しましたが、それ以降は減少しています。実質公債費比率は減少傾向にあり、平成24年は7.2%まで減少しました。

市税の内訳



資料: 地方財政状況調査(平成24年度)

市税収入額及び徴収率の推移



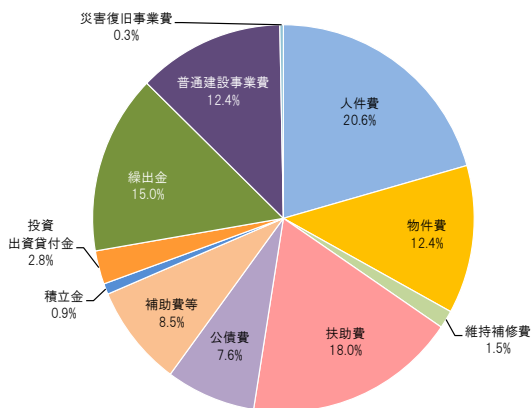
資料: 税務課

一般会計の決算額の推移(歳入・歳出)



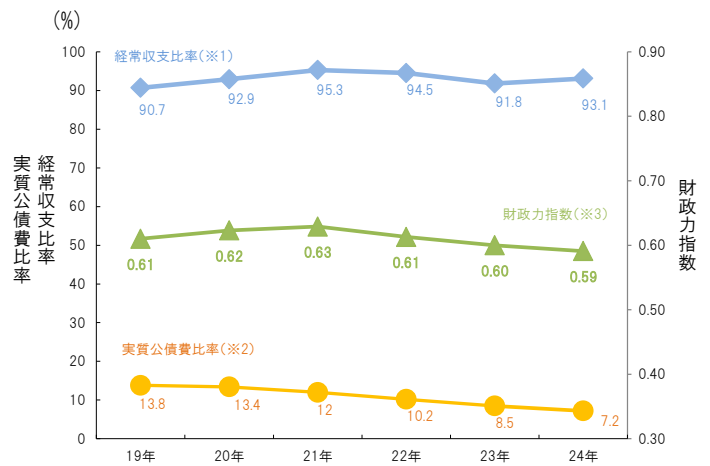
資料: 地方財政状況調査

一般会計の歳出決算額の内訳



資料: 地方財政状況調査(平成24年度)

経常収支比率と実質公債費比率と財政力指数の推移



資料: 地方財政状況調査

※1 経常収支比率…人件費や公債費など経常的な支出に対して、市税などの経常的収入がどの程度充当されているかを表す指標。

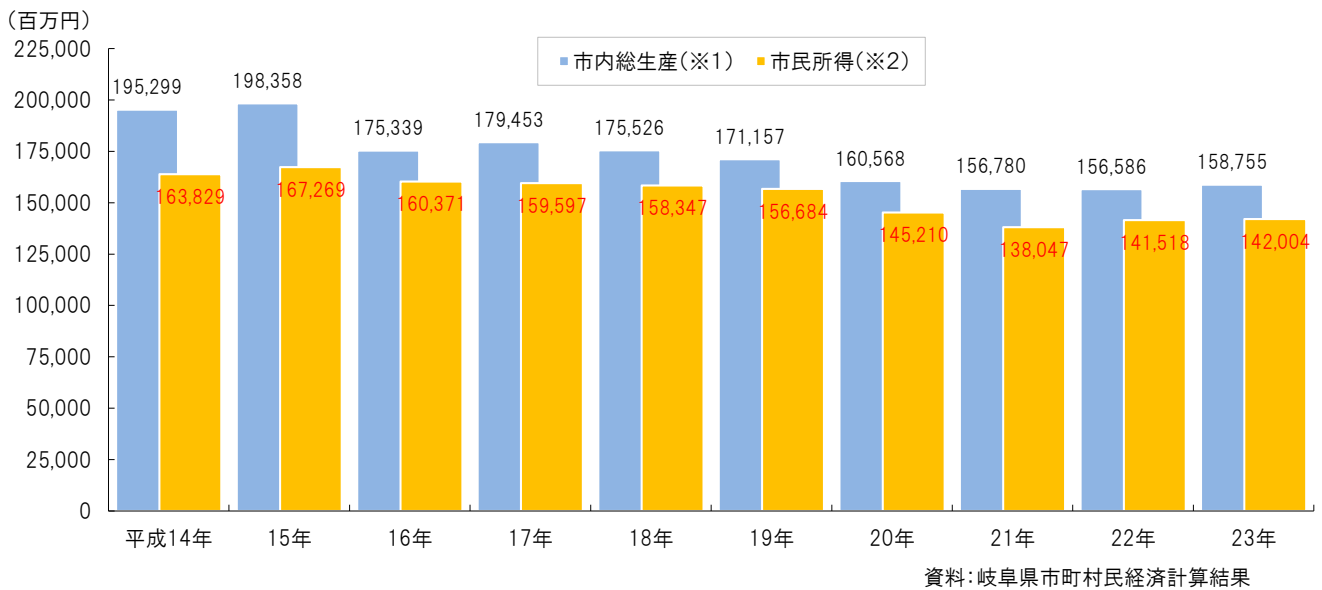
※2 実質公債費比率…実質的な公債費(地方債の元利償還金)が、財政に及ぼす負担を表す指標。

※3 財政力指数…地方公共団体の財政力を表す指標として用いられるものであり、基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値。

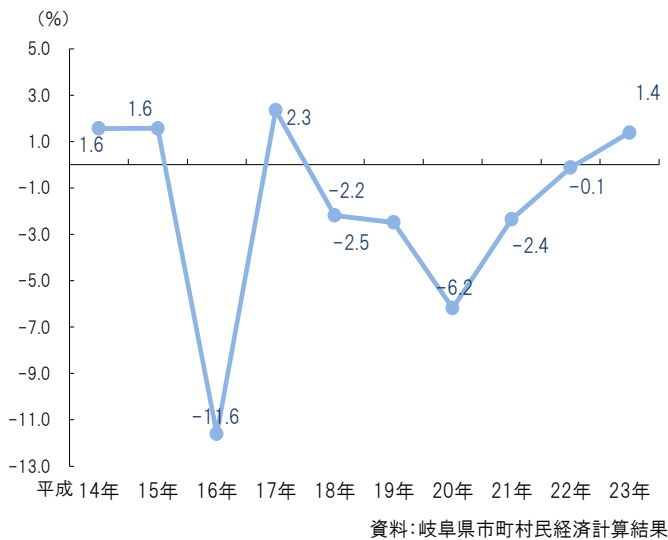
所得

市内総生産は、平成15年に若干の増加がありました。それ以降は減少を続けています。市民所得についても、平成15年以降減少傾向にあります。
 経済規模の拡大率を表す経済成長率は、平成16年には-11.6%のマイナス成長となり、翌年にはプラスに転じましたが、それ以降はマイナス成長が続き、平成23年は6年ぶりにプラス成長となりました。

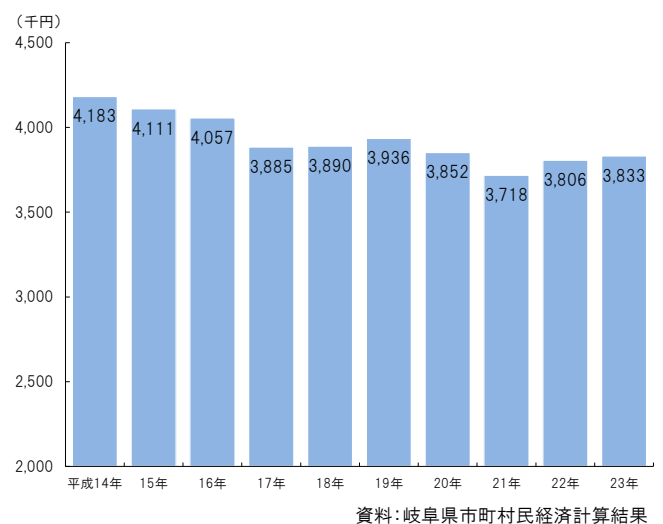
市民所得と市内総生産の推移



経済成長率の推移



雇員1人当たり雇員報酬の推移



※1 市内総生産: 一定期間内(年度単位の1か年)に、市内の各産業の生産活動によって生産された財貨及びサービスの総額(生産額)から、原材料費・燃料費・消耗品費の経費を差し引いたもの。

※2 市民所得: 市内に居住する経済主体(家計・企業・政府)が、市内及び市外の生産活動に参加、提供した生産要素(労働・土地・資本)に分配される報酬金額の合計であり、雇員所得・企業所得・財産所得からなっている。

※所得項目における数値は、岐阜県市町村民経済計算結果の遡及改訂後のものとなっています。

統計から見る土岐市の暮らし



世帯
1世帯に2.58人

(平成25年10月1日)



出生
1日に1.04人

(平成25年)



死亡
1日に2.02人

(平成25年)



高齢者
(65歳以上)
市民3.53人に1人

(平成25年10月1日)



結婚
1日に0.60組

(平成25年)



離婚
1日に0.21組

(平成25年)



転入
1日に4.64人

(平成25年)



転出
1日に5.02人

(平成25年)



人口密度
1km²に524.75人

(平成25年10月1日)



火災
11.6日に1件

(平成25年)



交通事故
1日に2.02件

(平成25年)



救急車出動
1日に6.55件

(平成25年)



水道使用量
市民1人あたり
1日0.30m³

(平成25年度)



ごみ排出量
1世帯あたり
1日3.20kg

(平成25年度)



市民所得
市民1人あたり
2,362,000円

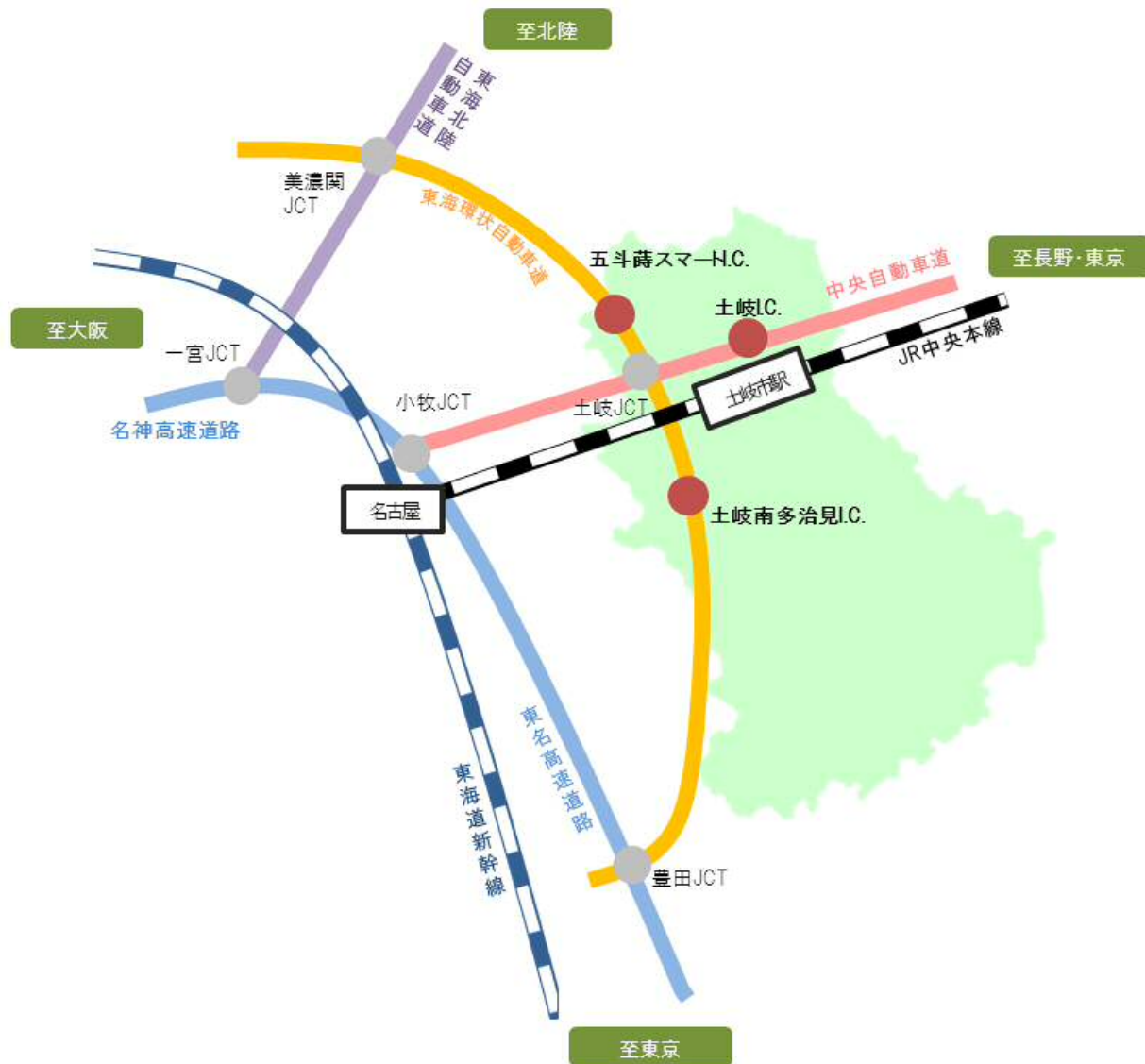
(平成23年)



財政規模
市民1人あたり
309,280円

(平成24年度)
※歳出決算ベース

アクセスガイド



土岐市統計書2013 一概要版一

発行：岐阜県土岐市

〒509-5192 岐阜県土岐市土岐津町土岐口2101

TEL：0572-54-1111（代）

FAX：0572-54-1127

URL：<http://www.city.tokui.g.jp/>

発行年月：平成27年2月